

Jealousick PaaKun 通信

2015年11月号

スペイン恐竜展に行ってきました！(2015年5月)

大阪市立自然史博物館にて開催の特別展「スペイン 奇跡の恐竜たち」に行ってきました。スペインのカスティーリャ・ラ・マンチャ州のラス・オヤスとロ・ウエコという白亜紀前後期の二つの化石産地にて発見された恐竜、鳥類、その他動植物の実物化石を多数展示した特別展です。目玉は何といってもラス・オヤスで発見されたコンカベナトルです！想像より小振りでした。カルカロドントサウルスやアクロカントサウルスに近縁な獣脚類で、胴椎・尾椎の長い神経棘を持っています。これは、スピノサウルスやイクチオベナトルのような帆をもつものと異なり、こぶのように復元されるようです。展示されていた化石はホロタイプ(その種を規定する、基準となる標本)で、非常に保存状態が良いです。椎骨のほとんどが関節しており、趾には皮膚や肉球の痕が残っていました。ラス・オヤスでは恐竜以外にも、魚類・昆虫類・有鱗類などの化石が非常に状態良く残っています。ラス・オヤスがスペインのラーガーシュテッテン(非常に保存状態がよい化石を含む地層)と言われるのも頷けます。

ほかにも、ペレカニムス、マンテリサウルス(足のみ)、エウロペヤラ(頭骨の一部)などの化石標本が展示されていました。また、シノサウロプテリクス、カウディプテリクス、マイクロプトルなど鳥類への進化の過程がわかりやすく展示されていました。後半では、ティタノサウルス類の化石が所狭しと並べられており、骨をじっくり見る事ができました。竜脚類の骨一つ一つを間近で見たことがなかったので良かったです。そして最後はガストニアがお見送りです。

他にも、ここには書ききれないほどたくさんの標本がありました。今回の恐竜展はもちろんのこと、昨年、大阪市立自然史博物館で開催されたトリケラトプス展も非常におもしろかったので、来年以降も楽しみにしています。



ペレカニムスの復元模型



マラウィサウルス



コンカベナトルの復元模型



ガストニアのお見送り



後肢の皮膚痕
コンカベナトルのホロタイプ



マンテリサウルスの後肢